

大阪・関西万博を契機に、今までにない成長や交流の機会を創出

Tech Osaka Summit 2025

Empowering visionaries, transforming ideas into impact.
The future starts here in Osaka.

2025.09.16 TUE.-09.17 WED.

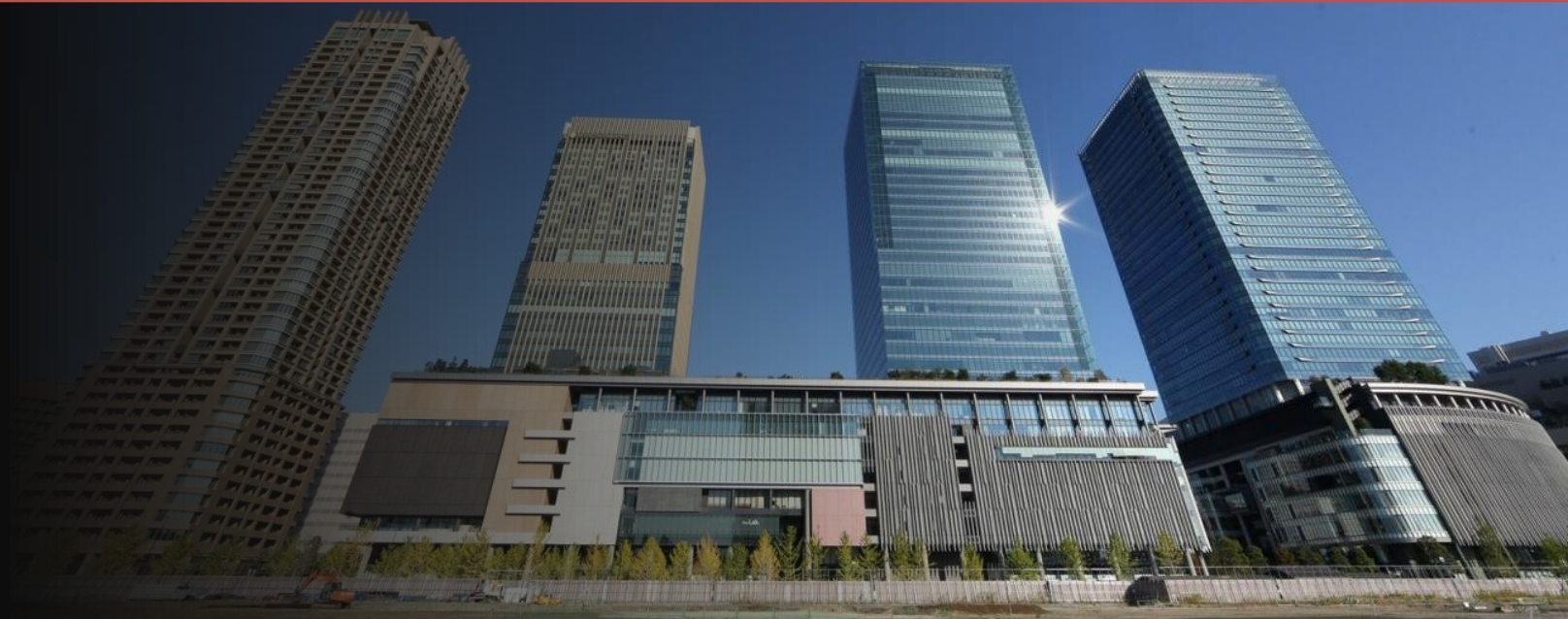
グランフロント大阪 北館

(B2階 ナレッジキャピタル コングレコンベンションセンター等)

Tech Osaka Summit 2025 出展
海外有望ヘルスケア・スタートアップのご紹介

JETRO

ジェトロ大阪本部



【JETRO推薦】海外有望ヘルスケア・スタートアップのご紹介



【17日出展】

① **Aevice Health** (シンガポール) SECOM ANSHIN Innovation Challenge Investor最優秀賞を受賞!
バイタルサインをモニタリングし、心肺異常を検出できるウェアラブル聴診器を開発。
米国FDAより501(k)認証を承認済み、シンガポールHSAによって医療機器として承認済み。



【16日出展】

② **Happlyz Medical** (フランス) フランスで保険償還できる初の呼吸器領域のデジタル治療(見込)!
慢性呼吸器疾患のリハビリをゲームを通じて行うデバイスを開発。ゲーミフィケーションとスマートデバイスを融合した「LORIO」により、患者の治療継続率を向上させ、医師による遠隔モニタリングを実現。AIや肺活量測定への展開、日本市場を含む海外展開も進行中。



【16日出展】

③ **Thymia** (イギリス) NHS(英国国民保健)や製薬会社ほか大手企業にも導入実績有!
わずか15秒間の音声データから健康状態をAI診断。世界最大の5万人以上の医療診断データを独自のAI技術で学習したモデルを用いて音声データを分析し、精神疾患、呼吸器系、心血管系、そして代謝系の状態を、認証医療機器の精度で客観的評価を提供。



【16日出展】

④ **AI and Life Sciences Institute** (香港) 香港科技园とメルクによる共同プログラムに採択!
最先端のバイオインフォマティクスと生成AIを基盤とする創薬プラットフォームを開発し、マルチオミクス解析(特にDNA、DNAメチル化、RNA、タンパク質)および、ターゲット探索、作用機序可視化、ペプチド最適化、低分子創薬を支援。AI創薬設計は疾患領域を問わず適用可。内部パイプラインはオンコロジー、自己免疫疾患、眼科領域に重点。欧米大手製薬企業でのAI創薬経験、大量の高品質社内データそして第三者機関検証済みモデルに強み。



【16日出展】

⑤ **Neuracle Science** (韓国) 韓国で突発性難聴のPh2試験中、前頭側頭型認知症のIND承認済!
バイオインフォマティクス手法を通じて新たに標的たんぱく質「FAM19A5」を発見。シナプトパシー治療を目的として、同たんぱく質を中和する抗体プログラムを開発。突発性難聴やアルツハイマー病等向けの臨床試験が進行中で、グローバル展開とライセンス提携も目指す。

世界最小のスマートウェアラブル聴診器で、病院から自宅までのケアを実現。

基本情報

設立年 2016年
ホームページ <https://www.aevice.com/>
資金調達状況 1,050万米ドル調達、Pre-Series A
主要投資家 Cedars-Sinai Medical Center, Denka, A&D Company, East Ventures, SEEDS Capital
従業員数 18名
知的財産 2つのパテントファミリー。1つは米国およびシンガポールにて登録済み。もう1つは日本で登録済み、米国およびシンガポールで出願中。

受賞歴・主要実績

- ・CES 2023「Best of Innovation Awards」受賞
- ・Digital Health Hub Foundation「Digital Health Awards 2023」Quarterfinalist
- ・米国およびシンガポールの3つの主要医療機関との商業展開
- ・FDAの認可およびHSAの承認取得

事業概要

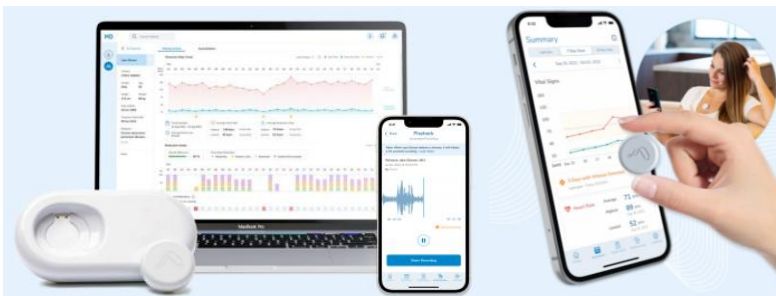
2018年に南洋理工大学（NTU）からスピンオフして設立。ウェアラブル聴診器「AeviceMD」は、バイタルサインのモニタリングや心肺の異常（例：喘鳴）の検知に有効である。これにより、早期の介入を促し、患者の有害事象を減らすことが可能となる。また、AeviceMDは、遠隔聴診や継続的なモニタリングを行うことで、遠隔診療を円滑に行うことができる。長期的なデータから実用的な情報を導き出し、患者の転帰を高めるためのパーソナライズされた治療をサポートすることができる。

製品・サービス概要

AeviceMDは、スマートなウェアラブル聴診器を用いて慢性呼吸器疾患の患者様を継続的にケアして支え続ける、インターネット接続型のケアプラットフォーム。米国FDAによって510(k)認証を取得し、シンガポールHSAによって承認済み。

日本企業との協業・連携に向けた関心内容

- ・事業提携：①日本市場への参入、②国際市場（米国およびその他地域）へのアクセス
- ・研究開発：①研究開発パイプライン、②AeviceMD技術の応用分野とユースケースの拡大
- ・投資：Series Aラウンドにおける戦略的投資家



ピッチデックURL

https://www5.jetro.go.jp/newsletter/osd/2025/TOS/ah_deck_ja.pdf

ゲーミフィケーションを通じた呼吸リハビリを世界初のネット接続型フルート「LORIO」にて実現。デジタル治療（DTx）をフランスでリードする。

基本情報

設立年	2021年
ホームページ	https://www.happlyzmedical.com/en
資金調達状況	100万米ドル調達、Early Stage
従業員数	5名
知的財産	ヨーロッパ、アメリカ合衆国、日本、およびその他の戦略的地域を含む主要な世界市場で、特許出願および公開されている。

受賞歴・主要実績

- ・BFM Business主催「Grands Prix Check-Up Santé」にて、「2025年ヘルススタートアップ」部門受賞
- ・2024年にエリゼ宮で開催された「Grande Exposition du Fabriqué en France」展にて受賞
- ・2023年「Les Talents de la E-Santé」予防医療部門受賞
- ・10以上の医療機関への導入と、100人以上の在宅患者による臨床研究が進行中
- ・フランスにおける呼吸器領域のDTxとして、初の保険償還対象となる見込み

事業概要

HAPPLYZ MEDICAL社は、呼吸の健康を支える革新的な接続型デバイスを専門とするフランスの医療テック企業。主力製品であるLORIOは、デジタルフルートとビデオゲームを組み合わせることで、呼吸トレーニングを楽しく効果的な体験へと変えるソリューション。呼吸機能不全や肺リハビリを必要とする方を対象に、リアルタイムのデータモニタリング、高度な信号処理、ゲーミフィケーションを活用し、治療効果と患者の参加意欲を向上させる。

フランス・ピエールフォンを拠点に、ヘルスケア、テクノロジー、ユーザー体験の交差点で事業展開。2026年に日本での本格展開を予定。

製品・サービス概要

LORIOは、呼吸努力の測定とインタラクティブなゲーミフィケーションを治療目的で組み合わせた独自の手法に基づく国際特許により保護された製品。呼吸データの正確な取得・解析・リアルタイム統合をゲームプレイに反映させることで、楽しさと臨床的有効性を兼ね備えた医療グレードのツールを実現。

日本企業との協業・連携に向けた関心内容

- ・ゲーミフィケーションを活用したヘルスケアソリューションの共同開発に向けたテック企業との戦略的提携
- ・LORIOをウェルネス・予防医療市場へ展開するためのゲーム企業とのパートナーシップ
- ・治療効果の検証を目的とした臨床試験に関する研究協力
- ・LORIOを遠隔医療・デジタルヘルスプラットフォームと連携させるための統合できるパートナー
- ・保険償還の実現と利用拡大に向けた公的・民間保険者との連携



ピッチデッキURL

<https://www5.jetro.go.jp/newsletter/osd/2025/TOS/hm.pdf>

声から始まる、健康の未来。15秒で、心と身体の状態を可視化。15秒の音声データを AI で分析し、精神、呼吸器、循環器、代謝性の状態を検知。

基本情報

設立年	2020年
ホームページ	https://thymia.ai/
資金調達状況	1,100万米ドル調達
主要投資家	Kodori AG, Dreamcraft, Brighteye, Entrepreneur First
売上（年間）	2024年：135万英ポンド（約182万米ドル） （2023年より5万英ポンド増加）
従業員数	20名（常勤）
知的財産	特許1件申請、7件特定

受賞歴・主要実績

- ・ London Top 10 Scaleups for 2025 (<https://thymia.ai/press>)
- ・ sifted誌「VCによる注目すべきメンタルヘルススタートアップ16社」(<https://sifted.eu/articles/mental-health-startups-vcs> (4.3.2024))
- ・ すでに NHS（英国国民保健）や製薬会社（Bayer, UCB Pharma）、大手医療機関、Fortune 500 企業でThymiaの革新技術の導入実績有。
- ・ 280以上の科学論文を出版

事業概要

2020 年創業で英国ロンドン発のディープテック企業 Thymia（ティミア）は、世界初の音声バイオマーカーモデルを開発し、健康評価の新たなスタンダードを創造している。世界最大規模の5万人以上の医療診断データを独自の AI 技術で学習したモデルを使い、わずか 15 秒間の音声データから、精神疾患、呼吸器系、心血管系、そして代謝系の状態を、認証医療機器の精度で客観的評価を提供。

世界で様々な賞獲得を経て、日本市場でのスマートフォンによるアクセスしやすいヘルスケアの実現を目指す。

製品・サービス概要

製品ラインナップは以下の3つ。

- ・ Apollo：DSM-V に準拠した、うつ病や不安障害などの精神疾患の重症度を診断。
- ・ Apollo++：呼吸器系（喘息、アレルギー、COPD）、循環器系（高血圧）、代謝性疾患（2 型糖尿病）に関する包括的なリスクプロファイルを提供。これらは診断・治療の指標として活用可能。
- ・ Helios（ウェルネス・企業向け）：従来のウェアラブルデバイスを凌駕する精度で、従業員・ユーザーの疲労、ストレス、燃え尽き症候群のリスクを評価。健康経営をサポート。

日本企業との協業・連携に向けた関心内容

Thymia の音声解析技術は、心と身体の状態を可視化し、様々な業界の安全やリスクの早期発見に貢献。クリニック、保険、交通機関（鉄道・航空・バス・タクシー）、車両管理、音声医療機器、遠隔医療、介護サービスなど、技術ライセンスパートナー候補は多岐に渡る。また日本市場における技術有効性評価や、国内臨床研究にご協力いただけるパートナー（企業・研究機関）も探している。



ピッチデッキURL

<https://www5.jetro.go.jp/newsletter/osd/2025/TOS/th.pdf>

大手製薬企業（RocheおよびAmgen）出身者によるAIプラットフォームによって、創薬プロセスの高度化および困難領域でのブレイクスルーを支援。

基本情報

設立年 2023年
ホームページ <https://www.ailsihk.com/>
資金調達状況 Seed round++
従業員数 14名
知的財産 15件

受賞歴・主要実績

- ・チャンピオン「2025 Asia Summit on Global Health(ASGH) MedTech」
- ・ファイナリスト「Jumpstarter 2025 Global Pitch Competition」
- ・20件以上の創薬プロジェクトで活用され、トップジャーナルに論文発表

事業概要

最先端のバイオインフォマティクスと生成AIによる高速・高精度創薬サービスを提供。ターゲット探索はがん領域に焦点を当てているが、AI創薬設計は疾患領域を問わず適用できる。内部パイプラインはオンコロジー、自己免疫疾患、眼科領域に重点。特に次の領域に実績がある：新規標的やバイオマーカー探索・作用機序解明・毒性予測・ドラッグリポジショニング・オフターゲット同定・低分子創薬支援AIツール・AI駆動公知データ統合技術・環状ペプチド創薬。

RocheとAmgenのAI創薬研究者によって2023年9月に設立され、これまでの研究経験、大量の高品質社内データそして第三者機関検証済みモデルに強みを持つ。香港大学／香港サイエンスパークに研究開発拠点を設置し、神戸にも拠点有。

製品・サービス概要

次の4つのAIソリューションで創薬の主要課題を解決する：

- ① 創薬ターゲット探索プラットフォーム：マルチオミクス解析（特にDNA、DNAメチル化、RNA、タンパク質）×AIにより疾患の根本的メカニズム解明と新たなターゲットを解明
- ② MOA(作用機序)のAI可視化ツール：MOA仮説構築・実験検証・バイオマーカー提案まで一貫支援
- ③ 創薬困難ターゲットに対するペプチド設計：困難領域(undruggable)に対して生成AIを用いた新規ペプチド医薬設計・最適化
- ④ 低分子創薬支援AIツール：ADMET特性を網羅的に考慮。ADMETリスクの予測、その原因可視化、改善法の提案

日本企業との協業・連携に向けた関心内容

日本の製薬企業との提携を希望しており、面談で詳細を紹介したい。

ピッチデックURL

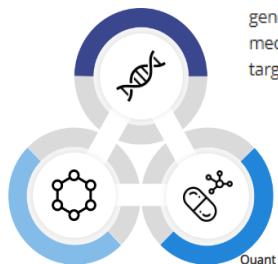
<https://www5.jetro.go.jp/newsletter/osd/2025/TOS/ai.pdf>

OUR ENGINES

State-of-the-art AI-Powered Platforms

Molecule-X

We use Gen-AI to design tailored peptide molecules, ensuring optimal binding poses and generating thousands of binders in one minute.



Omics-X & Target-X

We use multi-omics data to predict gene functions, uncover disease mechanisms, and identify novel targets and biomarkers.

Quantum-X

We combine AI and quantum chemistry to identify drug-like properties of peptide molecules, overcoming bottlenecks and increasing lead discovery success.

韓国発バイオ創薬スタートアップ。アルツハイマー病をはじめ神経変性疾患、神経耳科疾患、視神経障害を対象とした医薬品開発を行う。

基本情報

設立年 2015年
ホームページ <https://www.neuracles.com/eng/>
資金調達状況 655億韓国ウォン（約4700万米ドル）調達, Series D
主要投資家 Quad Asset, Shinhan Healthcare, Seven Tree Inv
売上（前年度） 12.5億韓国ウォン（約89万2千米ドル）
従業員数 32名
知的財産 米国、EU、日本、中国などの主要市場で有効な特許
ポートフォリオを2044年まで保有
受賞歴・主要実績 韓国国内のいくつかの受賞歴

Drug	Target	Route	Progress	Indications
NS101	FAM19A5	IV	P2a	AD, HL, DR, ALS, FTD, SCI
NS200	GALR2	SC, Nasal	Preclinical	OIC, Fecal Incontinence
NS300	FAM19A5	Local injection	Preclinical	Neurodegenerative diseases
NS350	FAM19A5	Oral	Discovery	Neurodegenerative diseases

事業概要

- **開発進捗** 第2a相臨床試験を実施中
- **先進的な抗体プログラム「NS101」**：シナプトパシーの治癒を目指すファーストインクラスの抗体
- **In vivo（生体内）有効性データ**：アルツハイマー病、ALS（筋萎縮性側索硬化症）、難聴、網膜症、脊髄損傷（SCI）
- **臨床安全性データ**：第1a相および第1b相試験を完了（白人集団における安全性データ）
- **臨床有効性データ**：突発性難聴（SSNHL）に対する第2a相試験から取得予定
- **シナプス調節**：作用機序（MOA）はシナプスの構造と機能を直接強化
- **多様なモダリティの可能性**：ペプチド、低分子、バックアップ抗体などをパイプラインに保有
- **今後の主要マイルストーン**：2025年12月に第2a相中間解析、2026年6月にトップライン結果の公表予定

日本企業との協業・連携に向けた関心内容

神経変性疾患、神経耳科疾患、および視神経障害（アルツハイマー病、聴力障害、網膜症、脊髄損傷、ALSなど）を対象とした臨床段階の医薬品候補のライセンス取得または共同開発を希望する製薬企業。韓国の未上場企業に投資可能なVC。